

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】 ■H23 (A-Ⅱ) □H24 (Ⅰ) □H24 (Ⅱ) 【AIMS】 □H25／ 早稲田大学

■プログラム名

アジア地域統合のための東アジア大学院（EAUI）拠点形成構想

—以下、シンガポールに特化した内容を主に記載ください。—

■相手大学・機関（国名も記載ください）

ナンヤン工科大学（シンガポール）

■主な活動内容（概要）

早稲田大学、北京大学（中国）、高麗大学（韓国）、タマサート大学（タイ）、ナンヤン工科大学（シンガポール）の5大学でアジア地域統合・協力のための世界的人材育成の拠点として、アジア地域統合のための東アジア大学院（EAUI）の開設に向け、アジア地域統合・協力プログラム（セメスター交換留学、サマー/ウィンター・スクール、コア科目、共同研究）を展開している。ナンヤン工科大学においては、2013年2月に早稲田と同大学の双方のイニシアチブの元に、初めての海外でのウィンター・スクールをシンガポールで開催した。学生からのフィードバックをふまえ質の高いアジア地域統合・協力プログラムの進展に取り組んでいる。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

単位互換：早稲田側の3単位科目の設置によるナンヤン工科大学への単位移行実現

パートナー大学との単位互換制度改善（例：成績がA（優）以外となった科目についても単位互換を認める）

危機管理：早稲田大学シンガポールオフィスと連携して、学生の危機対応に当たっている。

寮・奨学金：ナンヤン工科大学に関しては、学生寮の一部開放についてもお願いしているが、交換学生は対象外となっており、派遣学生は独自にキャンパス外で宿舎を確保している。シンガポールは物価が高いため、特にJASSO奨学金の対象外となる外国籍の参加者には負担が大きい。

成功事例

サマー/ウィンター・スクールは、5大学が一堂に揃って開催するイベントであり、アジア地域統合・協力プログラムの重要な要素である。本プログラムは、5大学の共同会議によって、テーマ設定、スケジュール、講師選定が進められており共同教育プログラム構築の実践的な基礎固めとしての位置を占めている。

共同教育プログラムの修了を認める早稲田-ナンヤン工科大学ジョイント・サーティフィケートの発行が両大学では承認されており、発行に向けての準備を現在進めている。